

地域公共交通の取組

長野県茅野市
企画部 地域創生課

2025年5月16日

目次

- ▶ 茅野市の概要
- ▶ 茅野市の交通課題と挑戦
- ▶ 「のらざあ」と「通学・通勤バス」の成果
- ▶ 現在の課題とこれから



01

茅野市の概要

茅野市の概要



人口：56,500人
世帯数：23,881世帯
(R2年国勢調査速報値)

気候・立地

- 首都圏や中京圏から電車で約2時間、車で約2時間半
- 八ヶ岳の麓に広がる自然と冷涼な気候
- 年間約300万人の観光客が訪れ、1万戸の別荘地が広がる国内有数の高原リゾート地

歴史

- 国宝土偶2体を有する縄文文化の中心地であり、平安時代から続く天下の奇祭「御柱祭」に代表される、現在も息づく独自の歴史文化

産業構造

- 山岳・高原リゾートを活かした観光業と、高度な精密加工技術を活かした製造業が基幹産業であり、製造品出荷額等は県内77自治体中8位 (H30)
- 高原野菜や花卉の栽培による近郊農業や角寒天、凍り豆腐、氷餅などの伝統的食品加工も盛ん

多様な市民

- 市内に住民票を置く「地元市民」、別荘利用者である「別荘市民」、観光客、ビジネスマン等の「交流市民」という3つの「市民」が共存

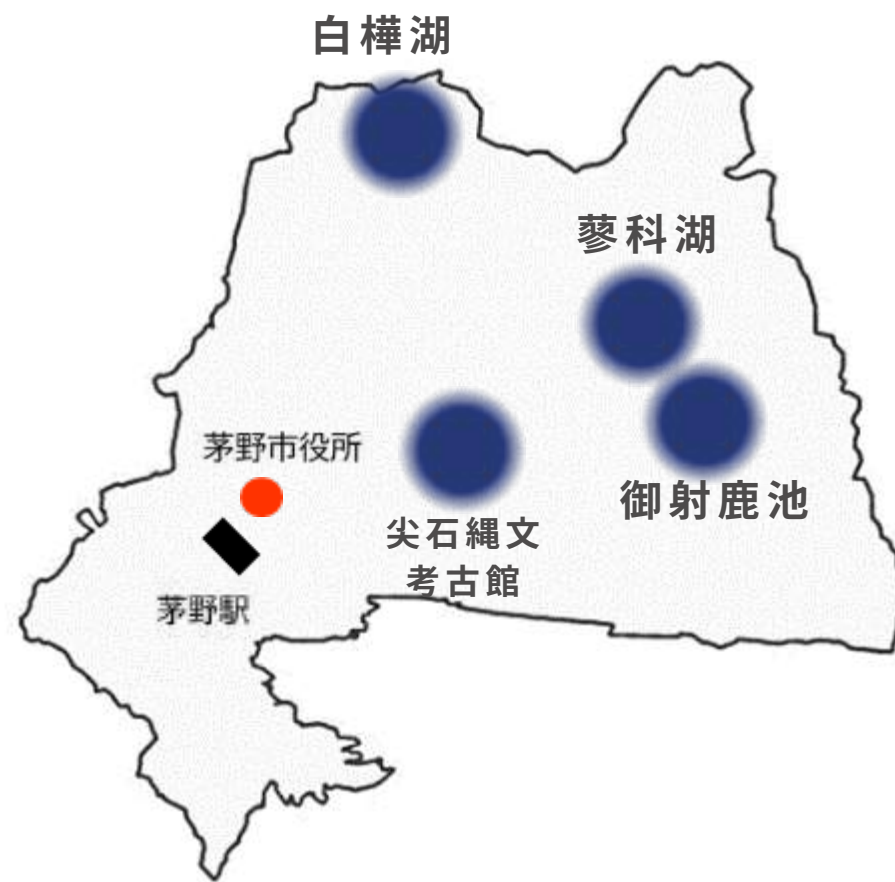
▼ 茅野市の概要



最高気温：35.0℃（8月）
最低気温：-9.5℃（2月）
年平均：12.0℃（令和2年）

集落が中心市街地から
10数キロの広範囲に点在
（10地区100行政区・自治会）
市域：266.5km²

▼ 茅野市の概要



02

茅野市の交通課題と挑戦

▼ 地域公共交通の背景と経過

平成9年 廃止バス路線の代替バスへの補助金（市）の交付開始（不採算路線への公的補助を開始）

平成28年10月 路線バス維持のため**24のバス路線の大幅な再編を実施**
・生活路線バスを週2～3日運行、11台の車両を曜日ローテーションで効率運行
・「福祉バス ビーナちゃん」廃止（10月：ダブりの完全解消）
→利用者回復せず市の補助金額は年々増加

令和元年 第2次地域創生総合戦略の策定・未来都市構想（スーパーシティ）の検討
→「茅野・未来都市構想策定会議」で公共交通改善策を議論
・ハブ＆スポーク型の公共交通体系への転換
・AIオンデマンドシステムを活用した1～3次交通のシームレス化

令和2年4月 第2次地域創生総合戦略の開始

令和2年6月 新たな地域公共交通の導入に向けて、茅野市新地域公共交通検討会議を新たに発足
→具体的な方策の模索
（これまでに32回の会議を実施）

「茅野市新地域公共交通検討会議」の成果

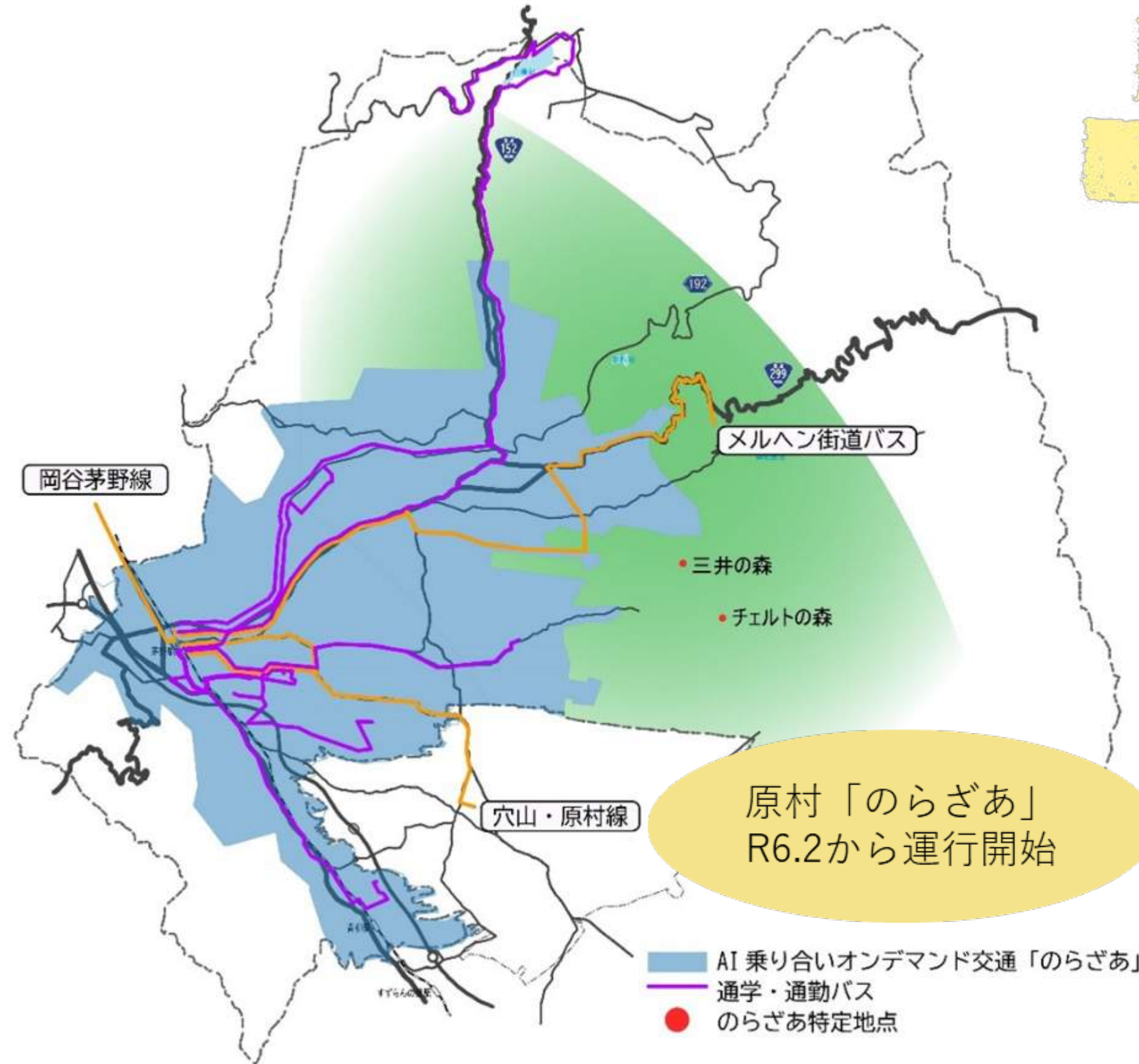
1 通学・通勤バスの確立

令和2年12月	ピアみどり線（ピアみどり～茅野駅） 実証運行開始 【朝夕各2便】
令和3年10月	ピアみどり線区間延長（北山小学校まで） 米沢線（北大塩口～茅野駅） 実証運行開始 【朝夕各1便】 泉野玉川線（泉野小学校～茅野駅） 実証運行開始 【朝1便、夕2便】
令和4年 4月	通学・通勤バス本格運行の開始 → ピアみどり線【上り朝3便夕2便、下り朝1便夕3便】 → 米沢線、泉野玉川線、御狩野線、丸山線【朝夕各2便】
10月	→ 白樺湖・車山高原線【朝夕各2便】

2 AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の導入

令和2年12月	実証運行開始 → 運行エリア：豊平、玉川、泉野、中大塩、市街地、米沢 → 運行時間：9時～19時
令和3年 3月	実証運行エリアを拡大【別荘地を除く全市域】～5月末運行終了
令和4年 8月	本格運行開始 （同年10月：生活路線バス13路線を廃止）

▼ 「のらざあ」と「通学・通勤バス」のコンビネーション



人口カバー率：96.8%

※ 駅利用圏域800m、バス停利用圏域300mとした地域内の人口カバー状況

- ・ AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」
- ・ 通学・通勤バス
 - ピアみどり線
 - 米沢線
 - 泉野・玉川線
 - 御狩野線
 - 丸山線
 - 白樺湖・車山高原線
- ・ 穴山・原村線
- ・ メルヘン街道バス
- ・ 岡谷茅野線

▼ AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の導入

運行事業者：地域の交通事業者4社による共同運行

(アルピコタクシー(株)、第一交通(株)、諏訪交通(株)、茅野バス観光(株))

システム開発事業者：Via Mobility Japan (株)

運行時間：8:00～19:00

運休日：年末年始（12/30～1/3）

予約方法：スマートフォンアプリまたは電話予約

運行エリア：観光地、別荘地等の一部を除く市内全域

乗降場所：約8,000か所の仮想停留所

運行車両：8台

運賃：

距離	3km未満	3km～5km	5km以上
金額	300円	500円	700円

▼ AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」の導入

	電話予約	アプリ予約	
予約種別	事前予約	事前予約	今すぐ予約
受付時間	1週間前から利用の1時間前まで		今から45分以内
必要情報	出発地、目的地、利用人数、希望乗車/到着時間		
乗車場所	予約確定時にオペレーターとのやりとりで確認	アプリ画面上の地図で確認	
運賃支払	乗車時に現金/回数券で運転手へ支払い	クレジットカード決済または乗車時に現金/回数券で運転手へ支払い	

2025年3月24日(月)から実証導入を開始！

▼ 「のらざあ」 サービス改善の取組

取り組んできた施策の一例

令和5年 3月 設計（最大迂回許容時間、予約時間幅）の最適化

令和5年 9月 車両のエリア配置やドライバーシフト休憩時間を需要に合わせて調整

令和5年11月 グループ乗車割引キャンペーンの実施

令和6年12月 再割当て機能の実装

令和7年 2月 要件に合致する者を対象とした自宅前仮想停留所の導入

令和7年 3月 運行ルートに合わせた予約受付（今すぐ予約）の導入

03

「のらざあ」と
「通学・通勤バス」の成果

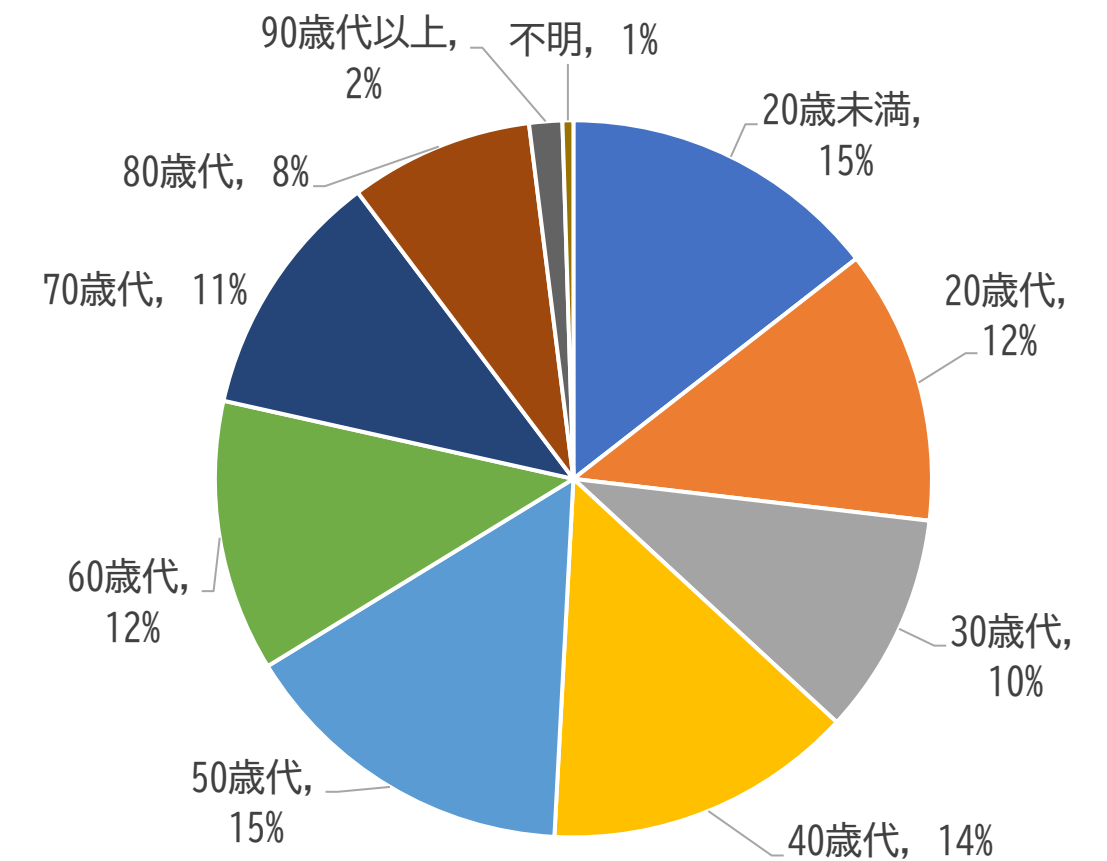
AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」利用状況

(令和4年8月～令和7年3月)

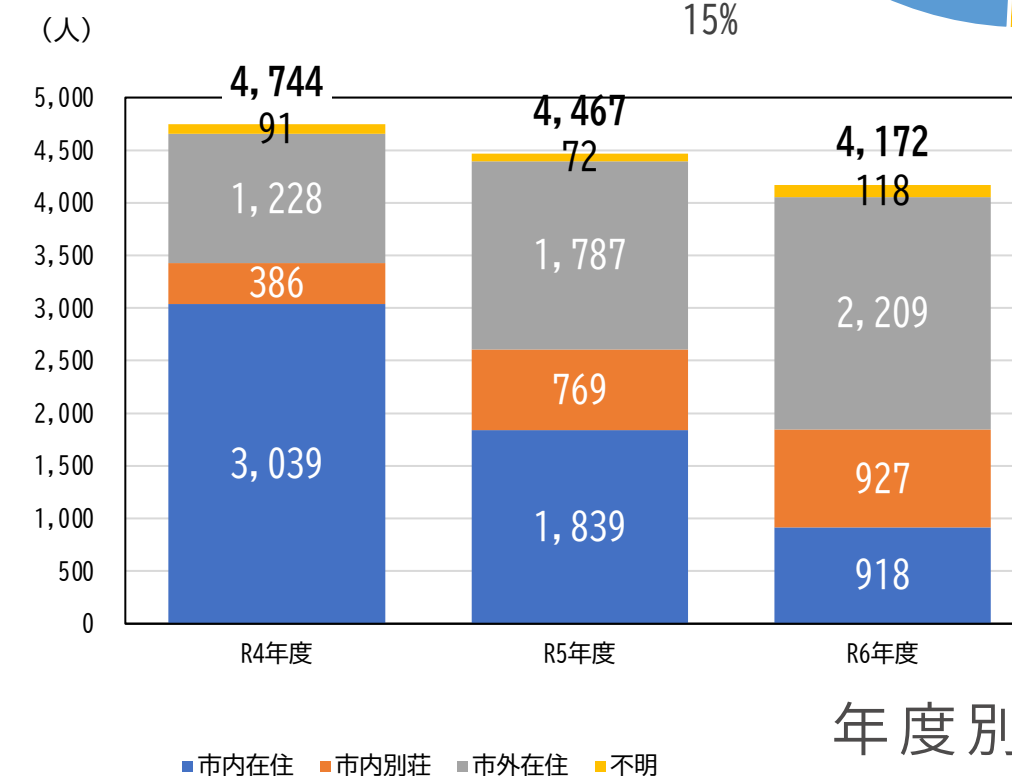
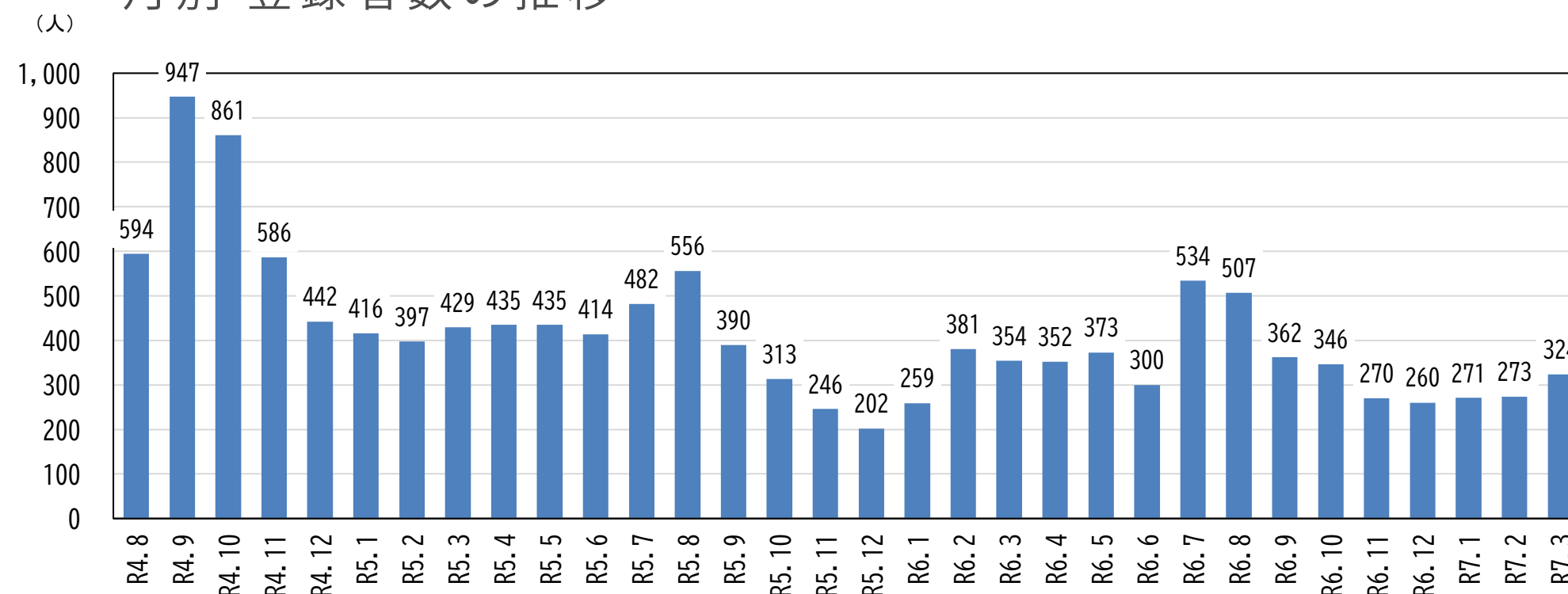
登録者数

- 登録者累計人数は、16,063人
- 高齢者だけでなく、**幅広い年代が登録**
- 毎年、7月8月の観光シーズンに登録者数の伸びが見られ、観光客等の移動手段としても認知されている
- 運行開始当初は市内在住者の登録が多かったが、**市外在住の登録者が増加傾向**にある

年齢別登録者構成図



月別登録者数の推移



年度別登録者数の推移

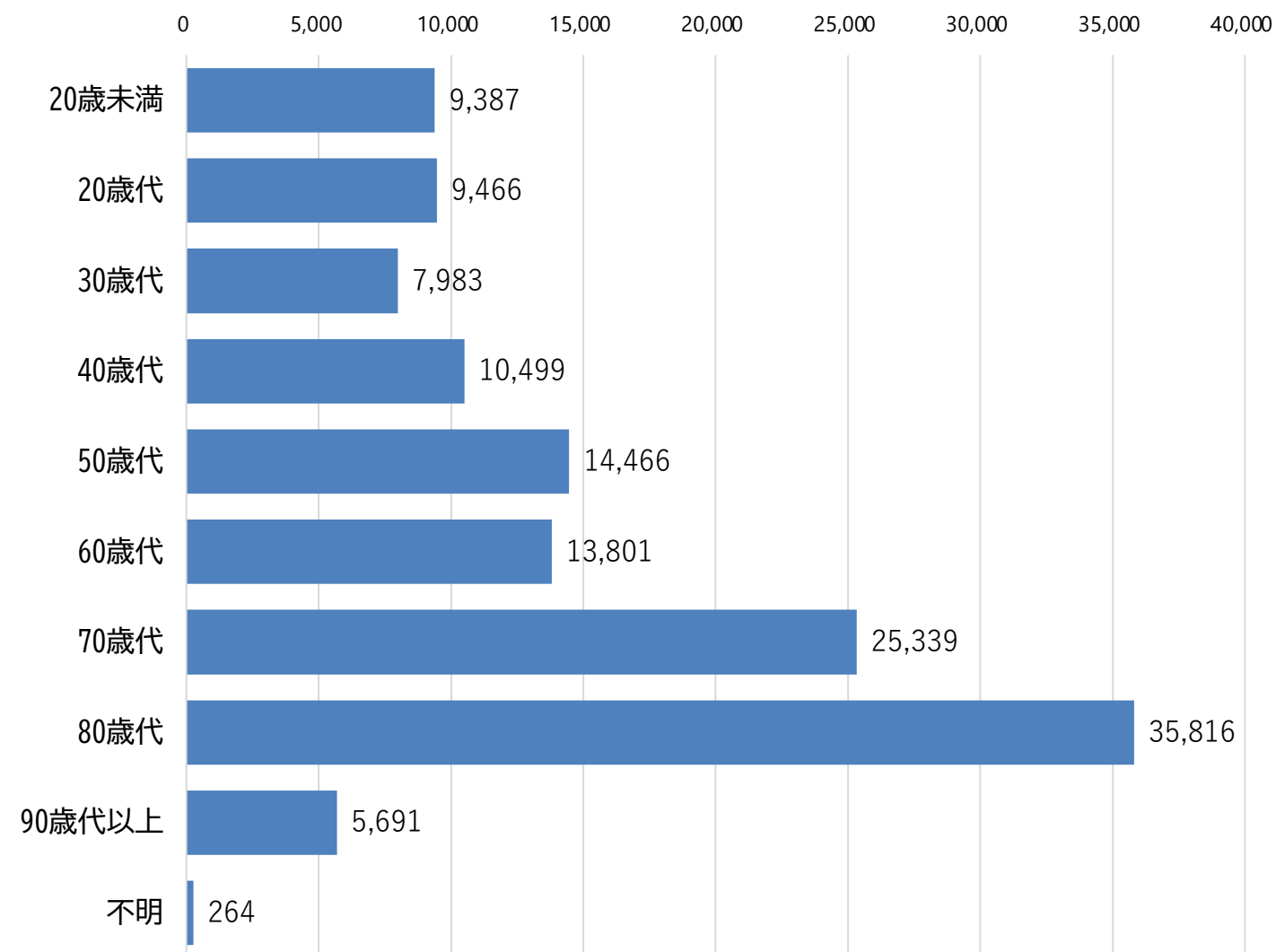
AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」利用状況

(令和4年8月～令和7年3月)

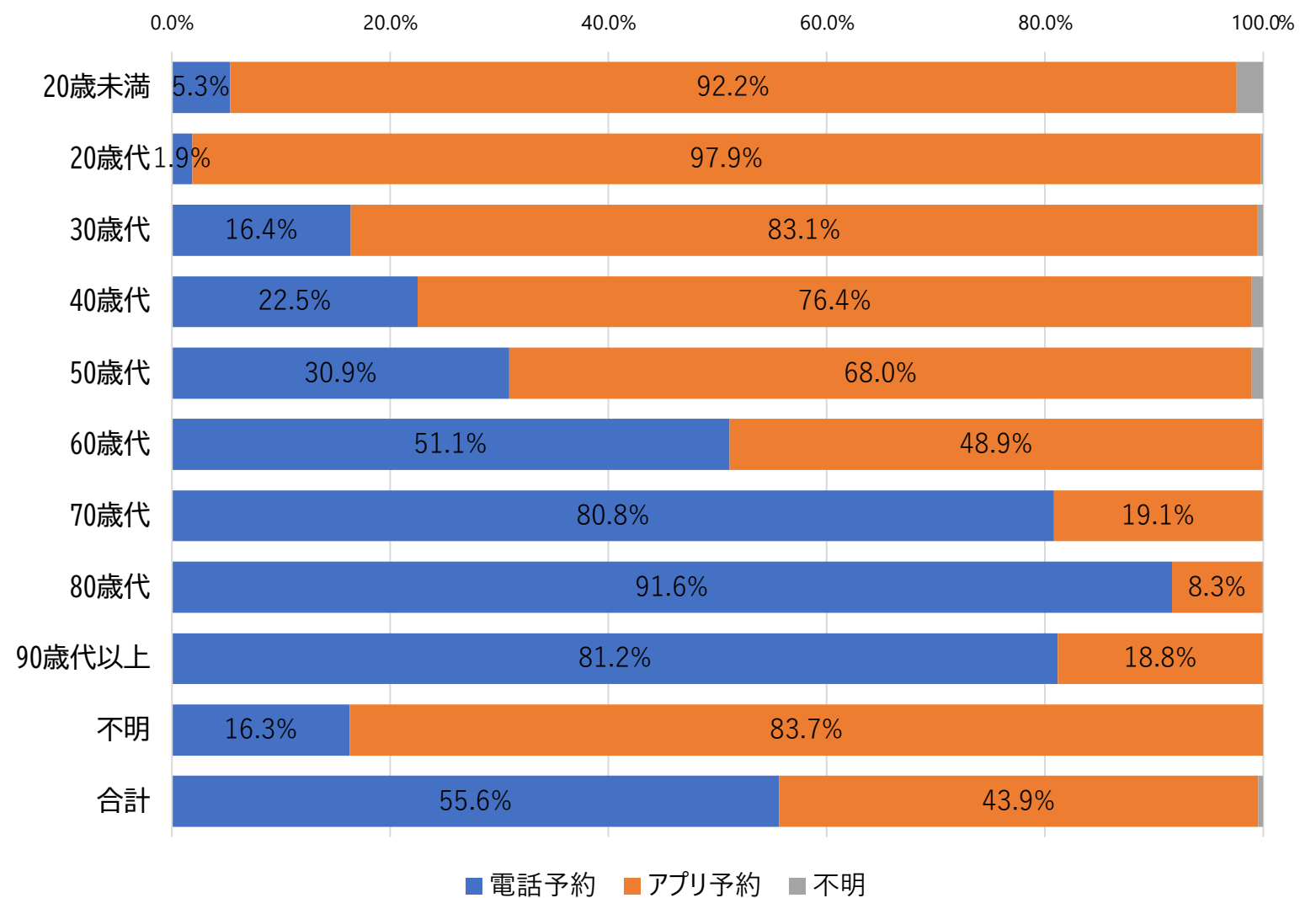
予約件数

- ・ 累積の予約件数は132,712件で、電話予約が55.6%、アプリ予約が43.9%
- ・ 総数の5割以上を占める70歳代以上は、80%以上が電話により予約
- ・ 50歳代以下は半数以上がアプリ予約しており、若い利用者ほどアプリ予約率が高い

年齢別予約件数



年齢別予約方法割合



▼ AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」利用状況

(令和4年8月～令和7年3月)

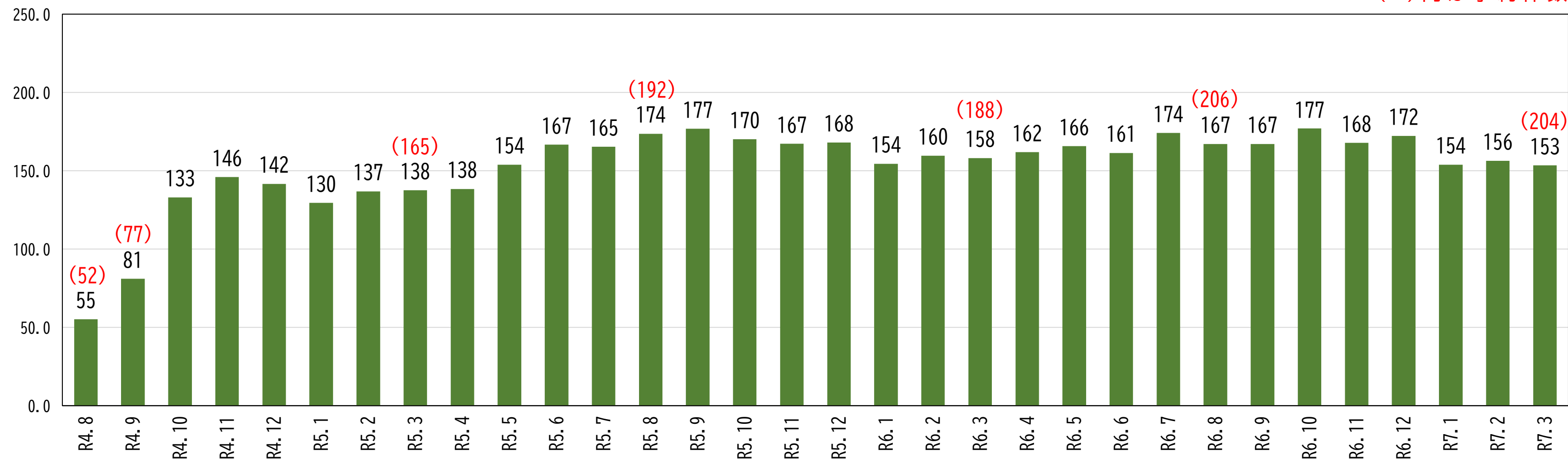
1日当たりの月別利用者数

- ・ 運行開始から約1年経過以降の1日当たりの月別利用者数は、150～180人の間で推移
- ・ 平日は約200人/日、休日は約100人/日が利用
- ・ 予約数は継続して増加傾向

【全体】

乗車人数(人)

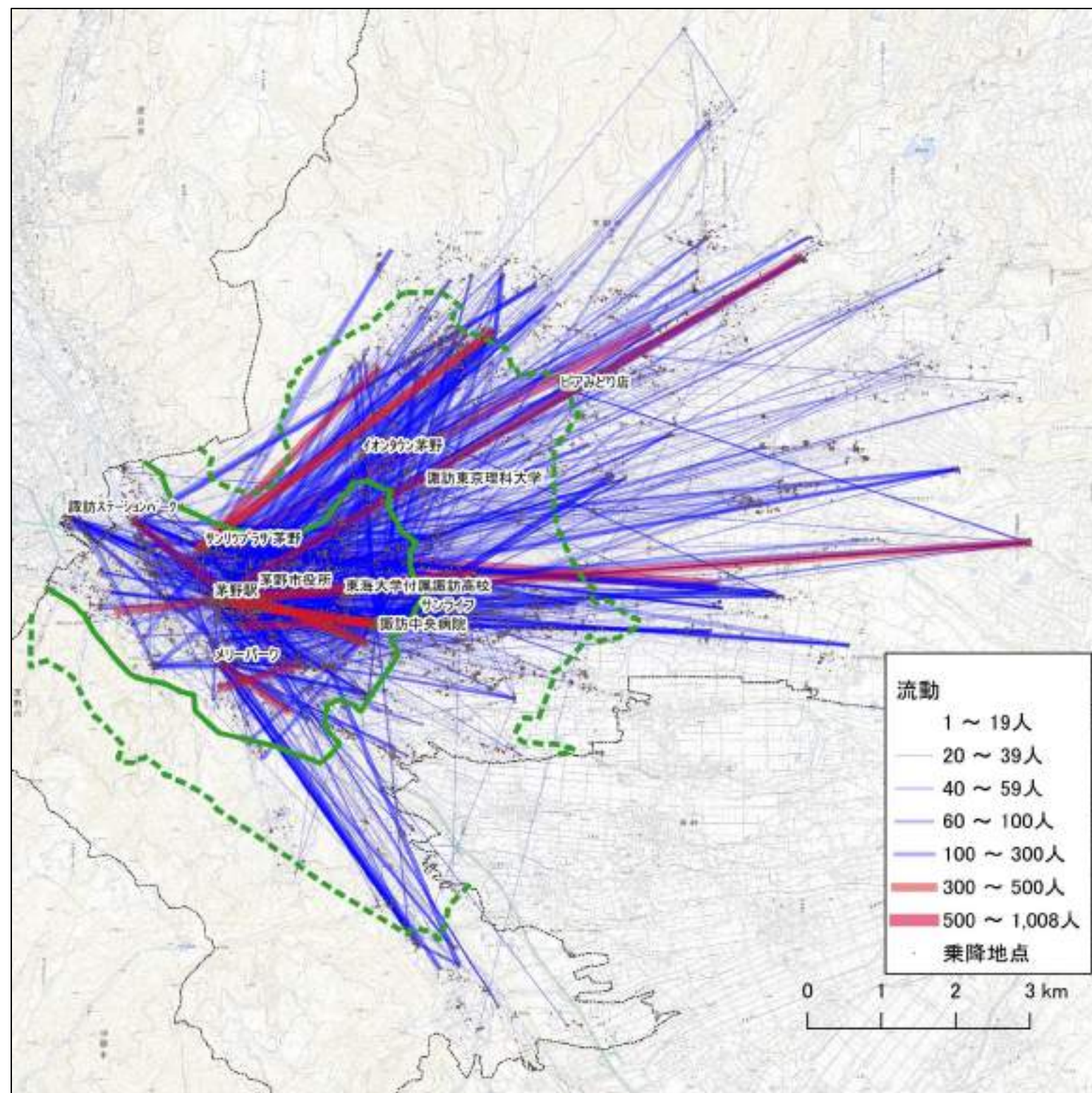
()内は予約件数



AI乗合オンデマンド交通「のらざあ」利用状況

(令和4年8月～令和7年3月)

利用者流動



- ・移動距離は2～3kmの利用が最も多く、4km未満が全体の約4割、6km未満の利用が全体の約6割を占める
- ・茅野駅、諏訪中央病院（基幹病院）、商業施設への流動が最も多い

移動距離帯別割合

乗車距離	利用者数	割合
1km未満	2,152	1.5%
1～2km未満	13,890	9.5%
2～3km未満	24,915	17.1%
3～4km未満	17,900	12.3%
4～5km未満	15,707	10.8%
5～6km未満	14,487	10.0%
6～7km未満	11,249	7.7%
7～8km未満	9,485	6.5%
8～9km未満	7,700	5.3%
9～10km未満	5,786	4.0%
10km以上	22,175	15.2%
合計	145,446	100.0%

主な乗降場所

主な乗降場所	乗降者数
茅野駅西口	25,329人
諏訪中央病院	23,365人
オギノ茅野ショッピングセンター	12,273人
茅野駅東口	8,402人
ショッピングセンターメリーパーク	6,829人
アクアランド茅野	4,729人
茅野市役所	3,268人
ツルヤ茅野店	2,930人
土橋形成外科	2,516人
ザ・ビッグ茅野店	2,360人
あすなろセンター	2,235人
河原の湯	2,087人
チェルトの森管理事務所	2,004人
通学・通勤バス 茅野駅（市民館前）バス停	1,904人
リバーサイドクリニック	1,493人

▼ 「のらざあ」と「通学・通勤バス」の成果

「のらざあ」と「通学・通勤バス」導入前の旧交通体系と導入後の新交通体系の乗車人数を比較すると、令和6年度の乗車人数はコロナ禍前の乗車人数の約1.9倍となっている

茅野市における公共交通機関の利用者数（観光路線を除く）



	R1	R5	R6	
通学支援バス	14,687			R4.3末で廃止
通学・通勤バス		68,766	75,424	R4.4から本格運行
生活路線バス （廃止13路線）	55,900			R4.9末で廃止
のらざあ		58,748	59,378	R4.8から本格運行
乗車人数計	70,587	127,514	134,802	
対R1比	100.0%	180.6%	191.0%	

04

現在の課題とこれから

▼ 現在の課題

「のらざあ」予約不成立の慢性化

- ・利用希望者が増加を続け、多くの予約リクエストに対応できていない
- ・特に観光客や別荘利用者が多く訪れる初夏～秋までの需要が大きく増加する
 - 設計（迂回時間、予約時間幅等）の最適化
 - 車両の増台（2025年度の秋）

「のらざあ」乗合率の伸び悩み

- ・本格導入開始からは増加がみられたが、現在は52%前後で安定
- ・予約リクエストへの対応のため、運行効率の向上が必要
 - 設計（迂回時間、予約時間幅等）の最適化
 - 再割り当て、今すぐ予約の実装

蓼科湖・白樺湖 車山高原エリアへの移動手段の不足感

- ・市街地と比較して移動手段が充実していない
- ・観光路線バスは、市街地での停車が少なく、駅と観光を直接結ぶ路線となっている

▼ 今後の取組や未来を見据えた取組の模索

1



車いす対応車両の増台

予約不成立の解消や車いす利用者の外出支援に向けて、車いす利用者の乗車にも対応できる車両を増台します。

2



観光エリアの路線バスの充実

既存の観光路線バスがカバーできない時間帯の路線バスの充実を図ります。

3



近隣市町村と連携した広域的なモビリティの模索

4



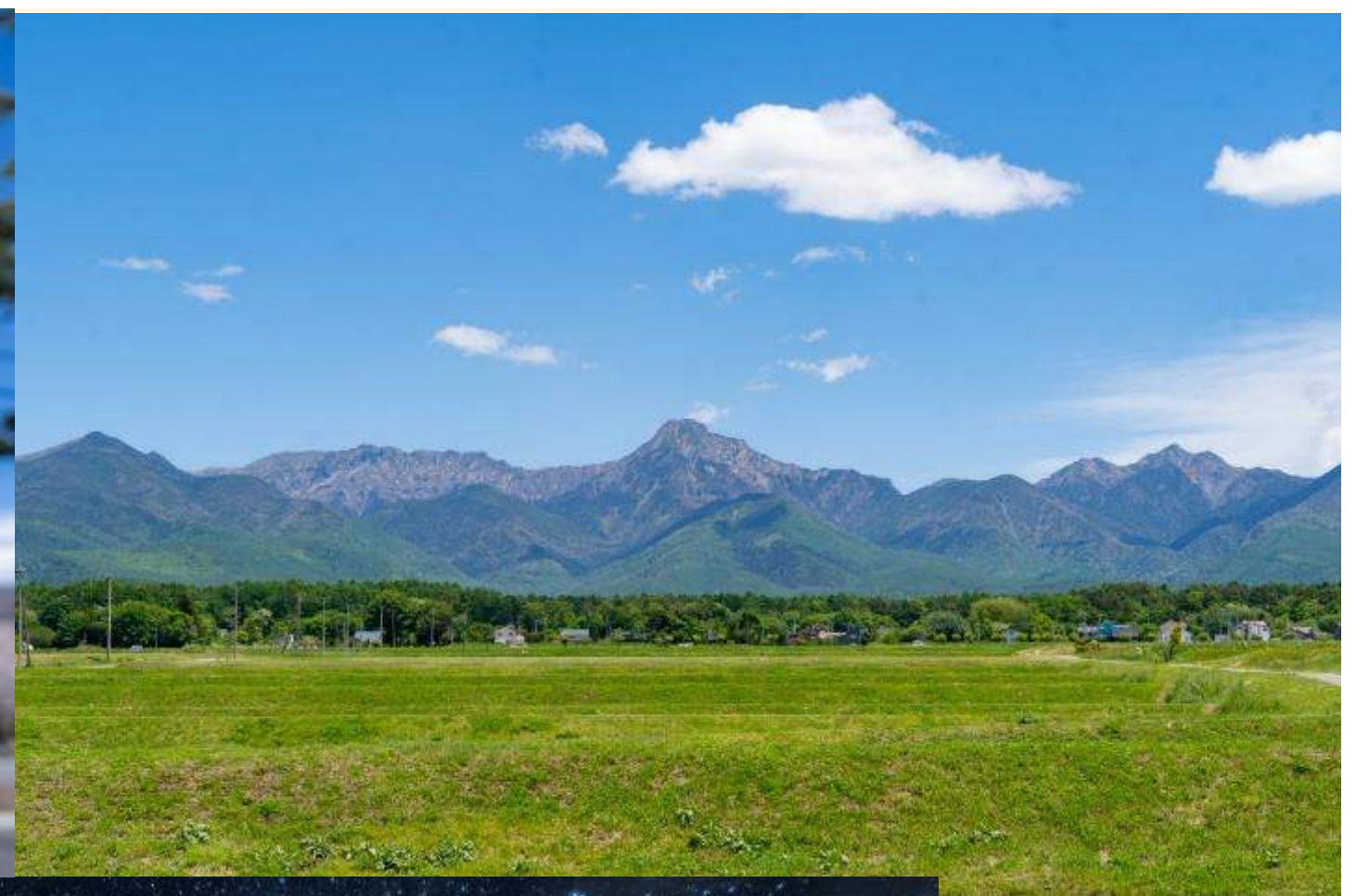
夜間の公共交通の多様化と充実

5



宿泊施設のシャトルバスとの連携した移動支援

Yatsugatake
colors



ご清聴ありがとうございました